

令和3年度

奈良県立病院機構看護専門学校

一般入学試験 問題

国語総合

注意事項

- 1 試験監督の指示があるまで問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、問題1から問題18までです。試験時間は50分です。
- 3 問題冊子、解答用紙には必ず受験番号と氏名を記入し、解答用紙の受験番号欄には正確にマークしてください。
- 4 解答は、①～⑤の選択肢から正解を一つ選び、解答用紙の該当する番号をマークしてください。二つ以上マークした場合には誤りとなります。
- 5 マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように丁寧に塗りつぶしてください。
- 6 試験中に問題の落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて試験監督に知らせてください。
- 7 問題冊子と解答用紙は回収します。室外への持ち出しは禁止します。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(問題は次のページから始まる)

第1問 次の各問いに答えよ。

問題1 次の傍線部の漢字の読み方が正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) ① 俳優の急逝(きゆうせつ)を悼む。

② 公園の築山(ちくやま)のまわりで子どもたちが遊んでいる。

③ 彼はあの有名企業グループの総帥(そうし)らしい。

④ 彼女は憎悪(そうあく)に満ちた表情を向けた。

⑤ あの会社では、上意下達(かたつ)が徹底されている。

(2) ① 環境問題に関する小冊子を頒布(はんぷ)した。

② 自浄(じじょう)能力のない企業に未来はない。

③ 親と和解する機会を逸(のが)した。

④ 謹んで哀悼(あいせき)の意を表します。

⑤ 先輩からの誘いを丁重(ていじゆう)にお断りした。

問題2

次の傍線部の漢字が正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) ① 明日の交渉を盤弱(ばんじやく)な構えで臨む。

② 彼は自分が偉いと感違(かんちがひ)している。

③ 市民ホールに観客を集容(しゆく)した。

④ このファッションは私が子供の頃に世界を席卷(しやくせん)していた。

⑤ 度重なる失敗に、前後策(ぜんごさく)を講じる余裕もない。

(2) ① 証明書の公付(こうぷ)を受けるには免許証を提示する必要がある。

② 家にある保存容器を煮沸(しゆい)消毒する。

③ 大企業を誘置(きゆうち)できれば雇用や税収の増加が期待できる。

④ 慌ただしいばかりの都会の生活に異和感(いわかん)がある。

⑤ 仲間の不詳事(ふじょうじ)は連帯して責任を取る必要がある。

(3) ① 薬品により野菜の成長を速進させることが可能となる。

② 彼は新事実を証言したが、その真疑のほどはわからない。

③ 危機的な事態に適切に対処できるか不安だ。

④ 自分の気持ちを整理して不安を払拭する。

⑤ 国連の決議に基づき経済制裁措置を講じる。

問題3 次の傍線部と同じ漢字を使うものを一つずつ選択せよ。

(1) 希少な生物をホ獲する。

① ホ助金を国から受け取る。

② 彼は来季もホ手を務めることになった。

③ 風で稲ホがゆさゆさと揺れる。

④ イルカはホ乳類だ。

⑤ アスファルトのホ装工事が行われる。

(2) 万一に備えて保ケンに加入する。

① 彼らの陰ケンなやり口は許せない。

② 山の中の一ケン家を尋ねる。

③ ケン身的に看護する。

④ その工事には利ケンが絡んでいる。

⑤ 彼はケン実な性格をしている。

(3) 彼らは入り口からイ勢よく入ってきた。

① 規則にイ反する。

② 多くの中で彼はイ彩を放っている。

③ イ気地がなくすぐに諦める。

④ 彼は他のチームにイ籍した。

⑤ 年と共にイ厳が備わってきた。

問題4 次の慣用句、四字熟語または故事成語の意味として正しいもの一つずつ選択せよ。

(1) 借りてきた猫

- ① 自分だけよく思われるように振る舞うこと。
- ② 波紋を起こすような問題を投げかけること。
- ③ 努力や苦心をして物事に取り組むこと。
- ④ ずる賢いものどろしが、互いにだまし合うこと。
- ⑤ いつもと違って大変おとなしいこと。

(2) 瓢箪ひょうたんから駒が出る。

- ① 期待通りにならなくなること。
- ② 思ってもみなかったところから意外な物事が現れること。
- ③ 物事の核心を突いていないこと。
- ④ 一度うまくいったうまみを忘れず、次にも同じことを期待すること。
- ⑤ 予期や期待をした通りになること。

(3) 人事不省

- ① 人生の不幸・幸福は予測がしがたいこと。
- ② 先見の明をそなえていること。
- ③ 頑固で道理にくらく、無知であること。
- ④ 意識不明になること。
- ⑤ いつ生まれて、いつ死ぬのかは、わからないということ。

(4) 悪事千里を走る。

- ① 悪いうわさはたちまち広まるといったとえ。
- ② 悪事や不正ははずれ必ず発覚するという戒め。
- ③ 隠していた正体がばれてしまったとえ。
- ④ 悪いことをした報いはすぐにやってくるということ。
- ⑤ 悪い世界との縁を切って、そこから抜け出すこと。

問題5 次の意味に該当する慣用句または四字熟語として正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) 人の性質や文章、作品などが洗練されて、さっぱりすること。

① 悦に入る。

② 眉を開く。

③ 灰汁が抜ける。

④ 溜飲が下がる。

⑤ 立て板に水。

(2) すばしっこくて抜け目がなく、油断もすきもならないこと。

① 生き馬の目を抜く。

② 盗人に追い銭。

③ 木で鼻をくくる。

④ 火中の栗を拾う。

⑤ 気が置けない。

(3) いかにもその人らしい特徴が表れ、世間の評価が高まるさま。

① 画竜点睛

② 大胆不敵

③ 面目躍如

④ 立身出世

⑤ 千載一遇

問題6 「インスピレーション」の意味として正しいものを一つ選択せよ。

- ① 外国のような趣のあるさまのこと。
- ② 世間の耳目を集め、興奮させること。
- ③ 物事の中核となる考えのこと。
- ④ 古いものが見直されて再流行すること。
- ⑤ 天啓を得たように突然ひらめく考えのこと。

問題7 「少数派」を意味する語句として正しいものを一つ選択せよ。

- ① オルターナティブ
- ② マイノリティ
- ③ ジェンダー
- ④ モノトーン
- ⑤ マジヨリティ

問題8 「折衝」の同意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 妥協
- ② 和解
- ③ 紛争
- ④ 協調
- ⑤ 交渉

問題9 「威圧」の反意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 服従
- ② 屈服
- ③ 懐柔
- ④ 敗北
- ⑤ 解放

問題10 傍線部の言葉の使い方が正しいものを一つ選択せよ。

- ① 彼女は怒り心頭に達して、つい大きな声を出してしまった。
- ② 先生に痛いところをつつかれたので、返答に窮した。
- ③ 巧妙な質問に引っかけり、つい言葉が滑ってしまった。
- ④ この計画は石にかじりついてでも成功させる。
- ⑤ 思いもつかないことが起きたので、大変驚いた。

第2問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

どこかへ旅行がしてみたくなる。しかし別にどこというきまつたあてがない。そういう時に旅行案内記の類をあけて見ると、あるいは海浜、あるいは山間の湖水、あるいは温泉といったように、行くべき所がさまざま有りすぎるほどある。そこでまずかりに温泉なら温泉ときめて、温泉の部を少し詳しく見て行くと、各温泉の水質や効能、周囲の形勝名所旧跡などのだいたいがざつとわかる。しかしもう少し詳しく具体的事が知りたくなって、今度は温泉専門の案内書を捜し出して読んでみる。そうするとまずぼんやりとおおよその見当がついて来るが、いくら詳細な案内記を丁寧に読んでみたところで、結局ほんとうのところは自分で行って見なければわかるはずはない。もしもそれがわかるようならば、うちで書物だけ読んでいればわざわざ出かける必要はないと言つてもいい。次には念のためにいろいろの人の話を聞いてみても、人によつてかなり言う事がちがつていて、だれのオーソリティを信じていいかわからなくなつてしまふ。(A)

こういうやり方は言わばアカデミックなオーソドックスなやり方であると言われる。これは多くの人々にとつて最も安全な方法であつて、こうすればめつたに大きな失望やとんでもない違算を生ずる心配が少ない。そうして主要な名所旧跡をうっかり見落とす氣づかいもない。

しかしこれとちがつたやり方でもないではない。たとえば旅行がしたくになると同時に最初から賽さいをふつて行く所をきめてしまふ。あるいは偶然に読んだ詩編か小説かの中である感興に打たれたような場所に決めてしまふ。そうして案内記などにはてんでかまわなないで飛び出して行く。そうして自分の足と目で自由に氣に向くままに歩き回り見て回る。この方法はとかくいろいろな失策や困難をひき起こしやしい。またいわゆる名所旧跡などのすぐ前を通りながら知らずに見のがしてしまつたりするのは有りがちな事である。これは危険の多いヘテロドックスのやり方である。(ア)これはうっかり一般の人にすめる事のできかねるやり方である。(B)

しかし前の(イ)にも短所はある。読んだ案内書や聞いた人の話が、いつまでも頭の中に巢をくつていて、それが自分の目を隠し耳をおおう。それがためにせつかくわざわざ出かけて来た自分自身は言わば行李りょうぎの中にも押しこめられたような形になり、結局案内記や話した人が湯にはいつたり見物したり享樂したりすると同じような事になる、こういうふうになりたがる恐れがある。もちろんこれは案内書や教えた人の罪ではない。

しかしそれでも結構であるという人がずいぶんある。そういう人はもちろんそれでよい。(C)

しかしそれでは、わざわざ出て来たかいがないと考える人もある。(ウ)曲がりなりにでも自分の目で見て自分の足で踏んで、その見る景色、踏む大地と自分とが直接にびつたり触れ合う時のみ感じ得られる鋭い感覚を味わわなければなんにもならないという人がある。こういう人はとかく案内書や人の話を無視し、あるいはわざと避けたがる。(エ)便利と安全を買うために自分を売る事を恐れるからである。こういう変わり者はどうかすると万人の見るものを見落としたりしがちである代わりに、いかなる案内記にもかいてないいいものを掘り出す機会がある。(D)

私が昔二三人連れで英国の某離宮を見物に行った時に、その中のある一人は、始終片手に開いたベデカベデカを離さず、一室一室これと引き合わせては詳細に見物していた。そのベデカはちゃんと一度下調べをしてところどころ赤鉛筆で丁寧アンダーラインがしてあつた。ある室へ来た時にその

ある窓の前にみんなを呼び集め、ベデカの中の一行をさしながら、「この窓から見ると景色がいいと書いてある」と言って聞かせた。(オ)「同はそうかと思つて、この見のがしてならない景色を充分に観賞する事ができた。

私はこの人の学者らしい徹底したアカデミックなしかたに感心すると同時に、なんだかそこに名状のできない物足りなさあるいは一種のはかなさともいったような心持ちがするのを禁ずる事ができなかった。なんだかこれでは自分がベデカの編者それ自身になつてその校正でもしているような気がし、そしてその窓が不思議なこだわりの網を私のあたまの上に投げかけるように思われて来た。室に付随した歴史や故実などはベデカによらなければ全くわからないが、窓のながめのよしあしぐらひは自分の目で見つけ出し選択する自由を許してもらいたいような気もした。(E)

ベデカというものがなかった時の不自由は想像のほかであろうが、しかしまれには最新刊のベデカにだまされる事もまるでないではない。ある都の大学を尋ねて行つたらそこが何かの役所になっていたり、名高い料理屋を捜しあてると貸し家札が張つてあつたりした事もある。杜撰な案内記でもあればそういう失敗はなおさらの事である。しかし、こういう意味で完全な案内記を求めるのは元来無理な事ではなければならない。(カ)「そういうものがあると思ふのが困難のもとであろう。」

(寺田寅彦『案内者』による)

注 ベデカ：ドイツの出版社ベデカーが発行したヨーロッパ各地の小型旅行案内書

問題 11 次の文は本文の一部である。文中の(A)～(E)のうち最も適当な挿入場所を一つ選択せよ。

それですんざんに調べた最後には、つまりいいかげんに、賽さいでも投げると同じような偶然な機縁によつて目的の地をどうにかきめるほかはない。

- ① (A)
② (B)
③ (C)
④ (D)
⑤ (E)

- 問題 12 傍線部(ア)「これはうっかり一般の人にすすめる事のできかねるやり方である」とあるが、その理由として最も適当なものを一つ選択せよ。
- ① 事前の準備がないために、周囲にいる人と同じような行動をとるしかないため。
 - ② 何の準備もなしに思い付きで旅行に飛び出せる人はそう多くいないため。
 - ③ 詩編や小説の中でのイメージにとらわれて本物の景色を楽しむことができないため。
 - ④ 知識不足により、目に留まる有名な観光名所にしか行くことができないため。
 - ⑤ 行き当たりばったりで見えて回り、名所を見落としたりするリスクが高いため。

問題 13 空所(イ)に当てはまる最も適当な語句を一つ選択せよ。

- ① 危険の多いやり方
- ② 旅行案内記の類
- ③ 安全な方法
- ④ 衝動的な旅行
- ⑤ 感興に打たれたような場所

問題 14 傍線部(ウ)「曲がりなりにでも」は本文中でどのような意味で用いられているか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 誤りであるとわかりながらも
- ② 不十分であるものの
- ③ すかさず
- ④ 遅ればせながらも
- ⑤ すんでのところで

問題 15 傍線部（エ）「便利と安全を買うために自分を売る」とあるが、具体的にどういふことか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 自分のやりたいことは無視して、案内者をつけて旅行に出るといふこと。
- ② 事前に得た情報にとらわれてしまい、自分自身の経験ができなくなるといふこと。
- ③ 他人から知識を得る代わりに、自分も誰かにその知識を教えなければならぬといふこと。
- ④ 一人の時間を犠牲にして、安全で効率的な旅行を他人に保証してもらふといふこと。
- ⑤ 他人任せに旅行をする結果、自分らしい旅の思い出が何もできないといふこと。

問題 16 傍線部（オ）「一同はそうかと思つて、この見のがしてならない景色を充分に観賞する事ができた」とあるが、この経験に基づく筆者の意見として最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 案内書があつても至らない点があるので、旅行に案内書は必要ない。
- ② 旅行に行くときは片時も案内書を手放さず、その地の歴史まで堪能するべきだ。
- ③ 予習した知識を実際に照らし合わせながら見物できるため、旅行に案内書は必須である。
- ④ 案内書に頼つて観光するのもよいが、景色の感想などは各々の主観に委ねてほしい。
- ⑤ 案内書をたどるだけの観光ではつまらないので、積極的に案内書にないような場所にも行くべきだ。

問題 17 傍線部（カ）「そういうものがあると思つるのが困難のもとであろう」とあるが、どういふことか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 案内記にも間違つた記載があるので案内記を頼らず独断で行動すると困難に陥る。
- ② 杜撰な案内記も存在しているため自分自身で事前に事実を確認しなければならず苦勞する。
- ③ 案内記に間違いはないと信じて頼りきつてしまふとかえつて困難な目に遭ふ。
- ④ 最新の案内記でも誤りは存在するため完全な案内記を手に入れることは不可能である。
- ⑤ 案内記に頼つた人の失敗例を聞くと旅行に行く前に取り越し苦勞をするはめになる。

問題 18

- a 〓 dのうち、本文の内容と合致するものの組み合わせとして正しいものを一つ選択せよ。
- a 他人の経験の跡をたどるような旅行でも楽しむことができる人も多い。
- b 名所を避けた旅行では誰も気が付かない掘り出し物のような場所にたどり着くことがある。
- c 旅行に行くときには案内書を持参する必要はない。
- d 名所や見どころを多く知ることができるため、詳細な案内記を読むべきである。

- ① aとb
- ② aとc
- ③ bとc
- ④ bとd
- ⑤ cとd

